

基本方針

図書館では、「市民のだれもが知る自由が保障され、いつでも利用できる図書館」「いつでも市民が生活する上で必要な情報が得られる図書館」を将来の姿として思い描き、生涯学習の場として、幼児から高齢者まで、すべての市民が本を読んで楽しみ、生活の知恵を得て、身体の健康と共に心の豊かさを育み、誰もが親しみやすい「生活の中に開かれた図書館」を目指す。

特に、子どもたち自身が読書習慣を身につけ、広い知識と豊かな情操を得て健全に育つよう「日進市子ども読書活動推進計画」を遂行する。

重点目標

1. 幅広い利用者層のニーズに対応するため、多様な図書館サービスの充実を図る。
2. 市民が希望する資料や情報をより得やすくするため、図書館ネットワークの強化を図る。
3. 子どもが読書に親しみ豊かな心を育むように、日進市子ども読書活動推進計画を遂行する。
4. より利用しやすい図書館とするため、図書館システムの更新を行なう。

主な事業**1. 多様な図書館サービスの充実****(1) レファレンス・サービス等の強化及び職員研修の充実**

レファレンスの知識の習得と技術の向上に努め、質の高いサービスを提供する。

(2) 図書館資料の充実

バランスある蔵書構成に努めるとともに、地域資料の収集など、多様な図書資料等の充実を図っていく。

(3) 多様な利用者層に応じたサービス提供

市民ニーズに応え利用の拡大を図るため、在架予約サービス、24時間返却ポストを継続するとともに、市内公立保育園9園を配本回収場所とするなど、利用者サービスに努める。

(4) 図書館ボランティアの参加促進と活動範囲の拡充

ボランティアの資質向上と対象者の増加をはかるため、ボランティア養成講座等を開催するとともに、市内各所へ読み聞かせの派遣を行うなど、活動場所の拡充に努める。

(5) 雑誌スポンサー制度の充実

企業等を対象に雑誌スポンサー制度の周知を図り、協賛企業を増やすことで自主財源の確保に努めるとともに、図書資料の充実により市民サービスの向上を図る。

(6) 市民ニーズに沿った施設運営

滞在型図書館として快適な環境を維持するため、施設の適切な維持管理に努める。
また、会議室等について利用者に周知を図り、利用率の向上を図る。

(7) 障害者サービスの充実

障害者向けの新しいサービスである「サピエ」の周知を行い、効果的な運用に取り組む。

2. 図書館ネットワークの強化**(1) 広域ネットワークの推進**

愛知医科大学をはじめ、大学図書館や周辺自治体との広域ネットワークの推進に努める。

(2) 小中学校図書館との連携や支援

教職員や学校図書館と連携を図り、調べ学習等に利用する図書の学校貸出を通じて児童・生徒の学習支援に努めるとともに、職場体験等も積極的に受入れ、図書館の利用を促進する。

3. 日進市子ども読書活動推進計画の遂行**(1) 家庭や学校等における子どもの読書活動の推進**

幼稚園、保育園、学校等と連携して子どもが自主的に読書活動に取り組むことができるよう努める。

(2) 図書館における子どもの読書活動の推進

図書館が読書にかかる情報を発信し、関係機関と連携して読書活動推進事業を推進する。

4. 図書館システムの更新

現行の図書館システムの更新を行ない、自動返却機の設置、学習室予約システムの導入、ホームページのリニューアルなど、図書館利用者の利便性の向上を図る。